

<中央区（中央幼稚園）、南区（もいわ幼稚園）の副主題>

園と家庭が一体となって子どもの育ちを支えるために

<研究の重点>

遊びや生活を通じた学びや一人一人の幼児の育ちを家庭と一緒に考えていくために

本園と、中央区の中央幼稚園では、**子どもの育ちを支えるために園と家庭がどのように連携していけばよいのか、3年間を通して研究しており、今年が2年目になります。**

今年度、中央幼稚園では、保護者アンケートなどを活用して保護者の子育てニーズを探り、それを踏まえた上で保護者と共に幼児の育ちを支える双方向的な連携を目指していきます。もいわ幼稚園では、保育参加に取り組む中で、園は幼児にとって豊かな体験や学びにつながる環境の構成を工夫し、家庭に分かりやすい発信と幼児の育ちの共有を目指していきます。また、研究アドバイザーの先生による合同研修会を通して、双方の幼稚園の研究内容について助言を頂き、多面的により深く検証できるようにしていきます。

具体的には、どんなことをするの？

中央幼稚園

○保護者アンケートの実施、取りまとめ

- ・家庭での生活実態や子育てに悩みなどを把握し、保護者の実態やニーズを踏まえた情報発信に生かしていく。

○事例研究の発信、共有

- ・事例を研究便りで紹介し、幼児の育ちや関わりのポイントを園と保護者で共有する。

○中央ダイアリーの活用

- ・『まほうのかいわ』などを活用し、保護者自身が幼児の育ちや自分の関わりについて考えるツールとし、園と共有する。



もいわ幼稚園

○保育参加「みんなで遊ぼう週間」の活用

- ・幼児一人一人の育ちを支える遊びを探り、保護者と共に実践する。
- ・幼児の遊びや人との関わりをなどのその後の幼児の姿や保護者の意識の変化を捉える。

○レポート『まほうのかいわ』や保護者との懇談などの活用

- ・保護者の考えに寄り添ったり、幼児期の発達に必要な学びについて一緒に考えたりする機会とする。



○合同研修会（年2回）

研究アドバイザーに北海道大学 大学院教育学研究院
附属子ども発達臨床研究センター
准教授 川田 学氏

○合同研究部会（年2回）

※各園の詳しい研究内容については、次号の研究便りでお知らせする予定です。